

# 第13回 評議員会議事録

日時 : 平成29年3月24日(金)  
15時30分から16時30分まで  
場所 : サンセール盛岡

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団

# 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団第13回評議員会議事録

日 時 平成29年3月24日(金)  
15時30分から16時30分  
場 所 サンセール盛岡

## 【出席評議員名】

小笠原 義 文 小 山 正 子 鎌 田 英 樹 工 藤 和 彦  
百 濟、和 夫 小 島 勝 子 千 葉 正 宏 津 野 牧 子  
長 棹 のぞみ 松 田 栄 二

## 【欠席評議員名】

熊 谷 きえ子

## 【出席監事名】

梅 木 敬 時 水 本 紘 一

## 【出席理事名】

清 水 茂 幸 鈴 木 清 也 千 葉 久 美 子 沼 田 英 吉  
野 中 広 治 熊 谷 俊 巳

## 【欠席理事名】

鈴 木 健 夫 鈴 木 祐 子

## 【議決事項】

- 議案第1号 平成29年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について  
議案第2号 平成29年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について  
議案第3号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員の選任について

## 【議事の経過】

- |             |  |
|-------------|--|
| 1 開 会       |  |
| 2 出席評議員数の報告 | 出席評議員数 評議員数11名中 出席10名                  |
| 3 理事長あいさつ   |  |
| 4 議事録署名人の選出 | 議事録署名人 鎌田英樹評議員、工藤和彦評議員                 |
| 5 議 事       |  |
| 議案第1号       | 議案第1号 平成29年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事業計画について |
| ～議案第2号      | 議案第2号 平成29年度公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団収支予算について |

質 疑  
採 決

なし

議案第1号及び議案第2号については、原案どおり満場一致で承認された。

議案第3号

議案第3号 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団評議員の選任  
について

(小笠原義文議長)  
(事務局)

事務局から、提案の趣旨について説明してください。

石杜有慎評議員が平成28年12月6日付けをもって辞任をされており、そのため評議員1名の選任をお願いするものであります。

(小笠原義文議長)

ただいま、提案の趣旨について、事務局から説明がありましたが、事務局案があれば、お願いしたいと思います。

(事務局)

(事務局案資料を配布)

評議員候補者として株式会社岩手日報社編集局次長の藤原哲様を提案させて頂きたいと思います。

質 疑  
採 決

なし

議案第3号については、事務局案のとおり藤原哲氏が選任された。

6 その他

(松田栄二評議員)

国立岩手山青少年交流の家では、広大な岩手県をカバーするためには各県の青少年施設と連携をしていかなければならない。多くの事業開発をしておりますが、その一つとして県南青少年の家で行われている「宿泊通学合宿」というのが昨年度からありますが、実はこの事業は岩手山青少年交流の家では5年ほど前から行っており、県南青少年の家では少し短くして行なっているものです。小学校5・6年生を対象として学校と施設の間を往復し通学してもらうものです。テレビも無いインターネットも無い環境で子供たちが自発的にルールをつくり生活をするというものです。今後さらに発展させて中学生を対象として行うことも検討しています。また、東日本大震災以降岩手県の沿岸部の子供たちを内陸部へ連れてくるリフレッシュ企画や、内陸部の子供たちを沿岸部へ連れて行き震災当時の状況を伝えるとともに復興の状況も教えるような事業をしています。昨年は陸中海岸青少年の家とも連携しております。今後も県内各青少年の家等と連携を進めていきたいと考えております。

(小山正子評議員)

私は以前陸前高田市に住んでいたことがありまして、素晴らしい高田松原を目の前に見ており、子供たちと地引網をするなど経験してまいりました。沿岸被災地に住む子供たちと内陸部の子供たちの交流をも

っと進めてほしいと思います。私も孫を連れて被災地に行きますが、元の姿が分からないので「建物も何もなくなったんだよ」と伝えても良くわからないのです。これからの子供達に震災の大変さを伝えられるような交流事業をもっと行って頂ければと思います。

(小島勝子評議員)

これまでレクリエーション協会というと福祉のイメージの方が強かったのですが、高齢化社会を迎え改めてスポーツ団体であり生涯スポーツの組織であるということで日本レクリエーション協会より新たにスポーツ・レクリエーション指導者という資格が提示され多くの方が受講するようになってきました。生涯スポーツの指導を専門に行う資格者が増えてきましたので今後も進めていきたいと考えております。福祉とともに生涯スポーツにも力を入れていきたいと思っております。

(津野牧子評議員)

私も子供がありますが、公営の施設等で行われる子供向けの事業は平日に行われるものが多くあり、親が仕事をしている場合は参加することが難しいことも多いと感じておりましたが、こちらの岩手県スポーツ振興事業団の各種教室や事業企画は土日など休日に行われているのも多くあることに気付き、共働きが増えている中で女性や子供の事業参加や施設利用促進のためにも、今後も土日に参加できる事業企画を継続して強化して頂きたいと思いました。

(小笠原議長)

新しい野球場を岩手県と盛岡市が共同で整備すると新聞に載りましたが、事業団で分かる情報があれば教えて頂きたい。

(事務局)

新しい野球場について当事業団へも新聞の記事以上の情報は入っておりません。盛岡市の基本構想がベースとなつてあのような新聞記事となつたものです。岩手県として具体的な構想を持っているところまではまだ行っていないとのことです。

(事務局)

新聞記事から県教委による高田松原野外活動センターの平成33年度に開所する再建計画及び運動公園内にスポーツライミングのスピード施設を平成29年度に整備する計画を情報提供する。


上記記載に相違ないことを認める。

平成29年 4月12日


議 長

小笠原義文 

議事録署名人

鎌田英樹 

議事録署名人

上 藤 和 孝  印